

知多半島医療圏における災害医療対策について

1 これまでの主な取組について

(1) 平成29年度知多半島医療圏災害医療対策研修会

	北部地域	中南部地域
対象市町	東海市、大府市、知多市、東浦町	半田市、常滑市、阿久比町、南知多町 美浜町、武豊町
日時	平成29年6月2日(金) 午後2時から午後4時30分まで	平成29年5月19日(金) 午後2時から午後4時30分まで
場所	知多保健所 2階大会議室	半田保健所 4階大会議室
出席者	講師1名 地域災害医療コーディネーター3名 市町7名、消防5名、ワグザバー2名 事務局13名 合計31名	講師1名 地域災害医療コーディネーター3名 市町10名、消防5名、ワグザバー1名 事務局11名 合計31名

研修内容

- ・愛知医科大学災害医療研究センター小澤和弘氏による「知多半島医療圏における災害医療対策について～南海トラフ地震に備えて～」の講演。
- ・「災害発生時の体系的初動対応」について、各市町に分かれグループワークを行った。

(2) 平成29年度南海トラフ地震時医療活動訓練

ア 日時：平成30年1月21日(日)午後0時30分から午後3時30分まで

イ 場所：半田運動公園

ウ 訓練主体：愛知県

エ 参加機関等：知多半島内5市5町、災害拠点病院(22チーム)、陸上自衛隊第10師団、第4管区海上保安本部、愛知県防災航空隊、知多中部広域事務組合消防本部等

オ 訓練内容：・訓練当日の午前6時に南海トラフ地震が発生したと想定し、県営名古屋空港に広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)を、半田運動公園に前線型SCUを設置し活用法及び初動体制を確認した。
・県営名古屋空港及び半田運動公園間を、県警ヘリ、陸自ヘリ、ドクターヘリ等により航空搬送した。

(3) 知多半島医療圏災害医療対策講演会

ア 日時：平成30年3月11日(日)午後2時から午後4時まで

イ 場所：アイプラザ半田

ウ 出席者：151名

エ 内容：・半田市立半田病院救命救急センター長田中孝也氏による「南海トラフ巨大地震等発生時の知多半島医療圏における対応」の講演。
・座談会「南海トラフ巨大地震を地域で考える」

2 今後の予定

(1) 平成30年度知多半島医療圏災害医療部会ワーキンググループ

ア 日時：平成30年11月から12月頃(北部、中部、南部地域に分け各1回開催)

イ 場所：半田保健所又は知多保健所

(2) 平成30年度知多半島医療圏災害医療部会

ア 日時：平成31年2月から3月頃

イ 場所：半田保健所

3 その他

南海トラフ地震の被災想定では、知多半島医療圏は被害が大きいと予想されています。大規模災害発生時の医療対策は、知多半島全域が総力をあげて対応しなければなりません。今後とも御理解、御協力をよろしくお願いたします。